

事業名	③ がん検診事業	担当部署	保健福祉部・健康子育て課・健康づくり担当
-----	-----------------	------	----------------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
<p>【評価○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康維持・増進策として重要な事業であり、受診率向上は強力的に推進すべき。 ・検診に託児がついたことで、とても利用しやすいとの話を知人からきいている。また、つるビーの検診している様子のfacebookはとても面白かった。 ・クーポンを配布したり、意識調査を行ったりと、受診率向上のために尽力している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん・子宮がん検診においては県平均を下回っており、また全体的な受診率も低位である。 ・対象年齢に達していない若い世代で、検診を受けたいと切実に思っている人もいる。 ・健康には関心があっても、がんについて自分事と考えていないようなケースもある。PRとして、どうしても年配の方向けのメッセージに聞こえがちである。 ・予約多数の場合、市外まで実費でいかなければならないのは、学生には負担となってしまう。 	<p>■事業の普及、受診率向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR映像の作成や、がんサバイバー参加のイベント等を開催し、普及率向上への啓蒙活動を強化するのはどうか。 ・亡くなった方の検診履歴の確認や、がんサバイバーへのインタビューを行い、がん検診の対象者の危機感を煽ることが重要である。 ・全世代に向けて「健康で過ごすなら都留市」のようなキャッチフレーズやメッセージの発信を行い、肥満や健康診断等を窓口に、がん検診につなげていくのはどうか。 ・大手企業との連携等で、市民の関心度を上げてはみてはどうか。また、未病・予防医療というキーワードはトレンドなので、活用すべきである。 <p>■受診制度、体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、国の指針に基づき、年齢制限を定めているとのことだが、制限を緩和し、受診者数向上させてはどうか。受診率は挙がらないかもしれないが、健康への意識は上がるだろう。 ・がん検診から、がんが見つかった患者向けの優遇制度（市立病院・県立病院・がんセンター等との連携による優先治療）を検討してはどうか。 ・職場や学校の健康診断に合わせて検診が受けられるようになれば、多くの人を受診を希望するのでは。 	<p>コーディネーターによる意見のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントやクーポンなどである程度受診率は増えるが、それに反応しない層もあり、今後も工夫が求められる。 ・がん検診については、エビデンスに基づいて実施しているため、年齢等制限あり、対象者も狭まってしまうが、全世代的に健康を広げていくべきであるから、意識啓発という意味も含め、間口は広くしていくべきである。